

この事業は、2017年度かりや夢ファンド補助金の助成を受けて実施しました。

コミュニケーションを楽しく試す初心者向けワークショップ

2017年度【第4期】概要まとめ

第1期：平成29年4～6月

第2期：平成29年7～9月

第3期：平成29年10～12月

○第4期：平成30年1～3月



ファシリテーター（進行役）情報

ファシリテーター

坂口 伊久磨（さかくち いくま）

所属など

認定 NPO 法人パンドラの会
就労移行支援事業所 S&J パンドラ 所長
※S&J：Step&Jump

資格・経験など

- ・2級キャリアコンサルティング技能士
- ・キャリアコンサルタント
- ・自閉症スペクトラム支援士（STD）
- ・約28年間、障がいのある人の就労支援の仕事に従事。

中野 菜保子（なかの なおこ）

俳優・脚本家・演出家・企業モデル演劇
製作ユニット（劇）上海自転車 代表
日本劇作家協会会員
日本演出者協会会員

大学在学中に劇団うりんこの創始者に逢い
師事。2001年に演劇製作ユニット旗揚げ。
数々のCM出演、企業モデル、エッセイ執筆
など活動は多岐にわたる。

概要

説明

働いていて、もしくはこれから働こうとする上で、コミュニケーションに生き辛さ（苦手意識、経験不足）を抱えている皆さんへ、コミュニケーションの【伝える】【受け取る】【共有する】の3つのテーマでのワークショップ、演劇のインプロ（即興劇）等の要素も取り入れた「セッション」やコミュニケーションに関する「ミニ講義」を行います。 ※相談や情報交換をする場ではありません。

コミュニケーションを“試す”（＝可能性の引き出しを開ける）機会をこの1年を通じ、皆さんと一緒に創っていきます。

家でも会社でもなく、利害・しがらみ・人間関係の影響がほとんどない場所「サードプレイス」（第三の居場所）として、安全・安心（＝誰にも決め付けられない）の場としての機能も目指します。



対象者

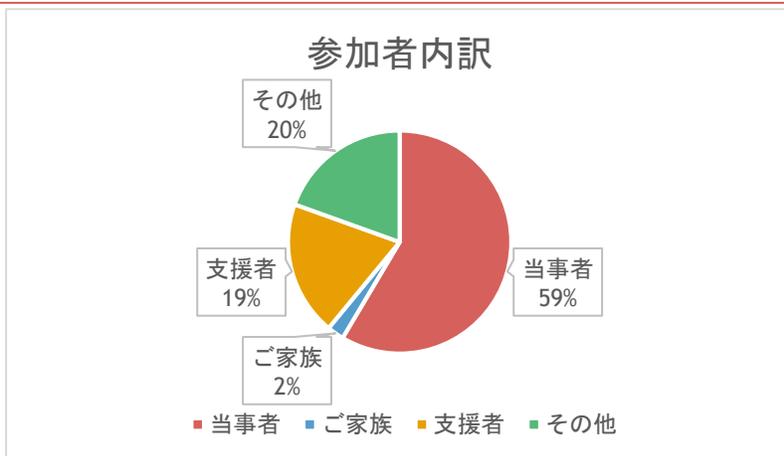
発達障がいのある方（18歳以上）※以下“当事者”と表記、ご家族、支援者、その他関心のある方ならどなたでも！

各回テーマ

開催日	テーマ
① 2018/1/20(土)	【伝える】～話す、表現する～
② 2018/2/17(土)	【受け取る】～見る聴く、感じる～
③ 2018/3/17(土)	【共有する】～演じる～

参加者数

開催日	当事者	ご家族	支援者	その他	合計
④ 2018/1/20(土)	8人	0人	3人	5人※1	16人
⑤ 2018/2/17(土)	6人	1人	2人	1人※2	10人
⑥ 2018/3/17(土)	10人	0人	3人	2人※3	15人
合計（延べ人数）	24人	1人	8人	8人	41人
（実人数）	15人	1人	4人	6人	26人



その他※1：学生3名、関心のある方1名、行政（夢ファンド担当者）1名

その他※2：関心のある方1名

その他※3：関心のある方1名、不明1名

◆居住地別◆

【当事者 15名中】 刈谷市3名、安城市2名、高浜市2名、大府市1名、岡崎市1名、蒲郡市1名
知多郡1名、東海市1名、豊明市1名、西尾市1名、みよし市1名

【ご家族 1名中】 刈谷市0名、大府市1名

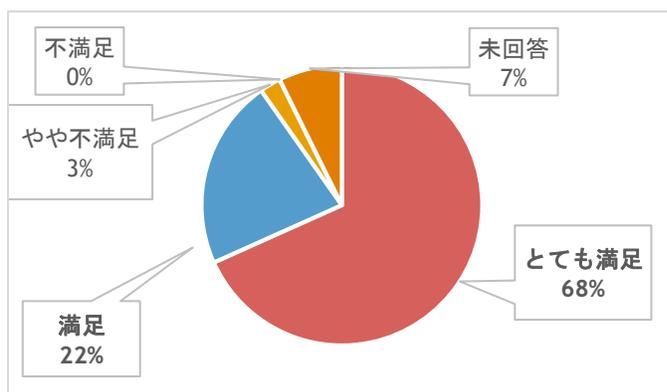
【支援者 4名中】 刈谷市0名、安城市2名、豊川市1名、名古屋市1名

【その他 6名中】 刈谷市1名、安城市1名、岡崎市1名、名古屋市1名、碧南市1名、岐阜県1名

参加者の声 ① (アンケートより)

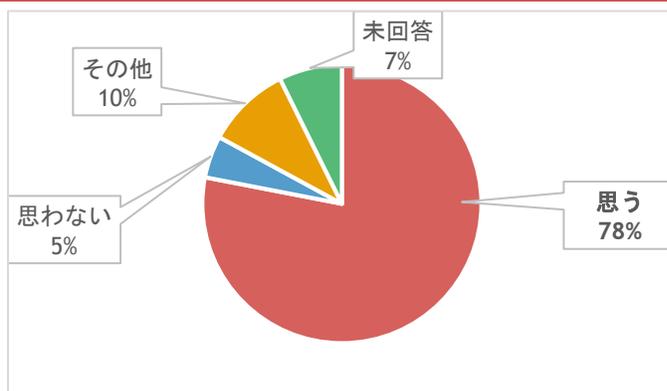
満足度

	開催日	とても満足	満足	やや不満足	不満足	未回答	合計
⑦	2018/1/20(土)	9人	5人	0人	0人	2人	16人
⑧	2018/2/17(土)	9人	1人	0人	0人	0人	10人
⑨	2018/3/17(土)	10人	3人	1人	0人	1人	15人
	合計	28人	9人	1人	0人	3人	41人



また参加したいと思いますか？

	開催日	思う	思わない	その他	※その他理由	未回答	合計
⑩	2018/1/20(土)	12人	1人	1人	(不明)	2人	16人
⑪	2018/2/17(土)	10人	0人	0人		0人	10人
⑫	2018/3/17(土)	10人	1人	3人	(他の活動と臨機応変に予定を立てさせていただきます。)	1人	15人
	合計	32人	2人	4人		3人	41人



参加者の声 ②（アンケート・個別インタビューより抜粋）

- ・みんなの話をきいて、参考というか勉強になった。（当事者）
- ・経験を積めば、苦手なことでもできるようになると思いました。（当事者）
- ・みんなそれぞれが良い味を出していると思いました。（当事者）
- ・（※生き辛さに関しての気付き）自分の中で決めていたり、固定していて苦しんでいたこともあったと思う。（当事者）
- ・相手の立場で考えることがなかなかできなかったがこれからもう少し（どなたか言っていたように）やわらかく生きたい。（当事者）
- ・ワークショップを続けることで勇気を出して一歩を踏み込んでいけば生き辛さはなくなると感じた。（当事者）
- ・「言葉に出す大切さ」・・・「ありがとう」や「こんにちは」など声に出して一歩でも踏み込んでいきたいです。（当事者）
- ・充実感を達成するためには、必ず準備が必要だと思った。充実感を得るために自らが行動していきたい。（当事者）
- ・「スモールスピード」で一歩ずつ事を進めていけば、自らの自信にもつながると思いました。（当事者）
- ・会話、コミュニケーションが、話し合いではなくて作業みたいと言われたことがあり、落ち込んでいました。自分の気持ちに集中しているからだとかの前（前回ワークショップで）教えていただいたことを思い出しました。今月はそれを忘れないで生活したいです。（当事者）
- ・常に言葉話すことが大切。自分のことも受け入れようと思う。（当事者）
- ・ゆっくりでも全部思っていることを話そうと思いました。（当事者）
- ・相手の話をきくことが大事なんだなと思った。（当事者）
- ・人にはそれぞれ悩みがあると気付かされた。（当事者）
- ・コミュニケーションが下手でも別に良いと思いました。（当事者）
- ・「失敗しても（失言しても）大丈夫」という環境で安心できました。それでも発言が怖いのは「すごいいいことを言いたい」という自分の目標の高さが取り払えないんだろうなと気付きました。（当事者）
- ・ボールのセッション（ボールでシアターゲーム）での人やボールへの気遣いでコミュニケーションに関する気付きを得られた。（当事者）
- ・やりづらかったり難しいことは人それぞれだと気付いた。（当事者）
- ・（自分は伝えたい相手に）声が届くように言えないことに気付きました。（当事者）
- ・言い方などで伝わり方が全然違うことに気付いた。（当事者）

- ・一緒に過ごしていて話すことが苦手と感じられないけれど、それを悩んでいらっしやること、見かけとは違うことに気付いた。（支援者）
- ・仕事に生かすと考えるととても難しく考えがぐるぐるまわるだけですが、まずは自分が変わっていくことだなと思います。（支援者）
- ・「待つ」大切さ、言葉にして返す大切さに気付きました。（当事者ご家族）
- ・理解のあるスタッフの方に囲まれリードしてもらい、娘も私も充実した時を過ごせました。（当事者ご家族）